

会 議 要 旨

会議名	第1回館山市立中学校生徒の自死といじめに関する第三者調査委員会
開催日	平成28年3月1日(火) 午後1時30分から4時35分
開催場所	ホテルプラザ菜の花 羽衣 (千葉市中央区)
出席者	委員：大野精一委員長，篠崎 純副委員長，安藤知史委員， 岩田 泉委員，小澤美代子委員，谷口 聡委員 事務局：金丸謙一市長，谷野秀紀総務部長， 手島 隆第三者委員会担当課長，川上 孝総務課長， 細田智輝総務課職員
公開・非公開の別	非公開
非公開の場合の理由	審議や個人の情報保護等に支障があるため
傍聴者	一名
会議概要・結果等	<p>【委員長・副委員長選出】 委員による互選の結果，次のとおり選出 委員長：大野精一委員 副委員長：篠崎 純委員</p> <p>【審議概要】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">調査・審議方針全般への意見</p> <ul style="list-style-type: none">・どの点を論点とすべきか，どの点を解明する必要があるのか，ということについて，委員会で整理・合意して審議を進める方向がよい。・当初の会合で，委員会が手に入れられる資料を確定し，それに基づいて意見交換や必要な調査を行っていく必要がある。 <p>決定事項</p> <ul style="list-style-type: none">・次回は，委員が各自の考えをまとめた資料を用意し，中核的な論点整理を行う。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">亡くなった生徒の理解といじめと自死の因果関係への意見</p> <ul style="list-style-type: none">・亡くなった生徒は自分の回りで起きた事実に対して，どのように考えていたのか，あるいはどのように思ったのかを，まず調べる必要がある。生徒の内面的にどのような変化があったのかが分かるような，亡くなった生徒をまず理解するというのがこの委員会でも必要であろう。・委員会での因果関係の判断は一般にいう訴訟とは異なると思う。いじめと自死との関連性がどの程度あるかという評価にもつながるので，亡くなった生徒をまず理解するというのは，かなり重要な部分かと思う。・亡くなった生徒を理解する際は，いじめの加害生徒だけでなく，友人関係，親しかった者も含めた関係性の理解が必要と思う。・「からかい」というのも非常に大きなもので，暴力よりも言葉の

方が、ダメージを受けるということは往々にしてある。一つの「からかい」だけでは死には至らなくとも、それが自死に踏み出すインパクトになる場合もあるとも考えられる。

会議録への意見

- ・後日、会議録が公開された際に、要約では何が議論されたかよくわからないという話が出るとすれば、むしろ逐語的な会議録を作成し、公開した方がよいのではないか。
- ・逐語で作成した会議録が分かりやすいかということと必ずしもそうではなく、趣旨がよくわからなくなってしまうことがある。委員同士は面と向かって話していると、ニュアンスとかを受け取れるが、文字になったときに、変に誤解される方が、かえって良くないと思う。こういう議論があったという趣旨がまとまっている方が、会議録としてもむしろわかりやすい。会議録は要点をまとめたものの方がいいと思う。

決定事項

- ・会議録は要点筆記の形式で作成する。

会議概要の報告と公表への意見

- ・遺族に対するものと公に出すものと基本的に同じでいいと思う。どこまでの内容にするかということ。
- ・イメージとしては会議録を簡略化したくらいのものが適當。

決定事項

- ・要点筆記で作成した会議録を簡略化したものを概要とし、遺族への報告と同じものを公表する。

委員会スケジュール

第2回以降のスケジュール

回	日付	会場
第2回	4月22日(金)	千葉市
第3回	5月31日(火)	千葉市
第4回	7月2日(土)	館山市
第5回	8月2日(火)	千葉市
第6回	9月16日(金)	館山市
第7回	10月21日(金)	千葉市
第8回	11月18日(金)	
第9回	12月16日(金)	
第10回以降	原則として第三金曜日を予定	